

FIF-232C

インターフェースユニット

八重洲無線株式会社

FIF-232Cインターフェースユニット

FIF-232C インタ フェースユニットは、各種のパーソナルコンピュータに準備されているRS-232Cと、FT-980/Sの外部インターフェースバスとを接続して使用するためのアダプタです。

プログラムは付属していませんので、お手元のパーソナルコンピュータに合わせて付属のCATシステムコントロールマニュアルを参考に作成してご使用下さい。

構 成

このユニットは次のような構成になっています。

- FIF-232C 完成品 (D3000307) 1
- 接続ケーブル (PTT/AGC/GND) (T9204760) 1
- 接続ケーブル (6 P DIN) (T9204640) 1
- 予備ヒューズ 0.5A (Q0000001) 1
- CATシステム 外部コントロールマニュアル 1
- 取扱説明書 1

1) 機器の接続

- ① FT-980/Sとパーソナルコンピュータの電源スイッチがOFFになっていることを確認し、電源プラグをコンセントに接続します。
- ② 右図のように正しく接続します。なおRS-232Cケーブルは、本機には付属してませんので、マイコンショップなどで別にご用意ください。
- ③ FT-980/S、パーソナルコンピュータおよびFIF-232Cの電源スイッチをONにし、プログラムをロードしてご使用ください。

2) RS-232C信号極性の選択ほか

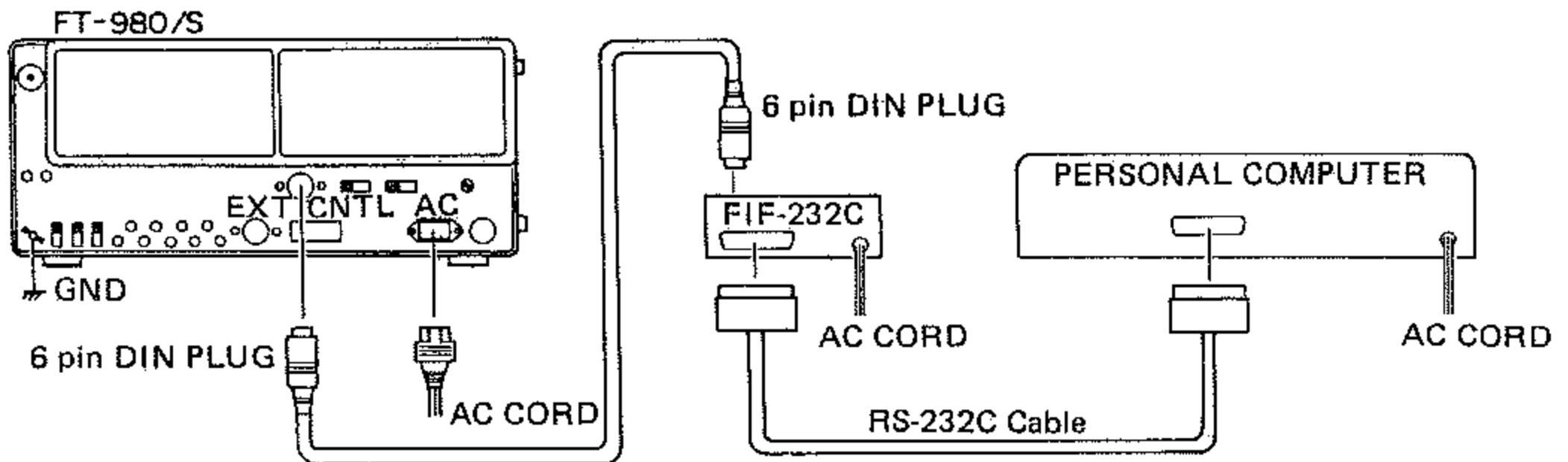
- ① FIF-232Cの内部に信号極性の切換スイッチがあり、プログラムやお手元のパーソナルコンピュータに合わせた信号極性が選べます。

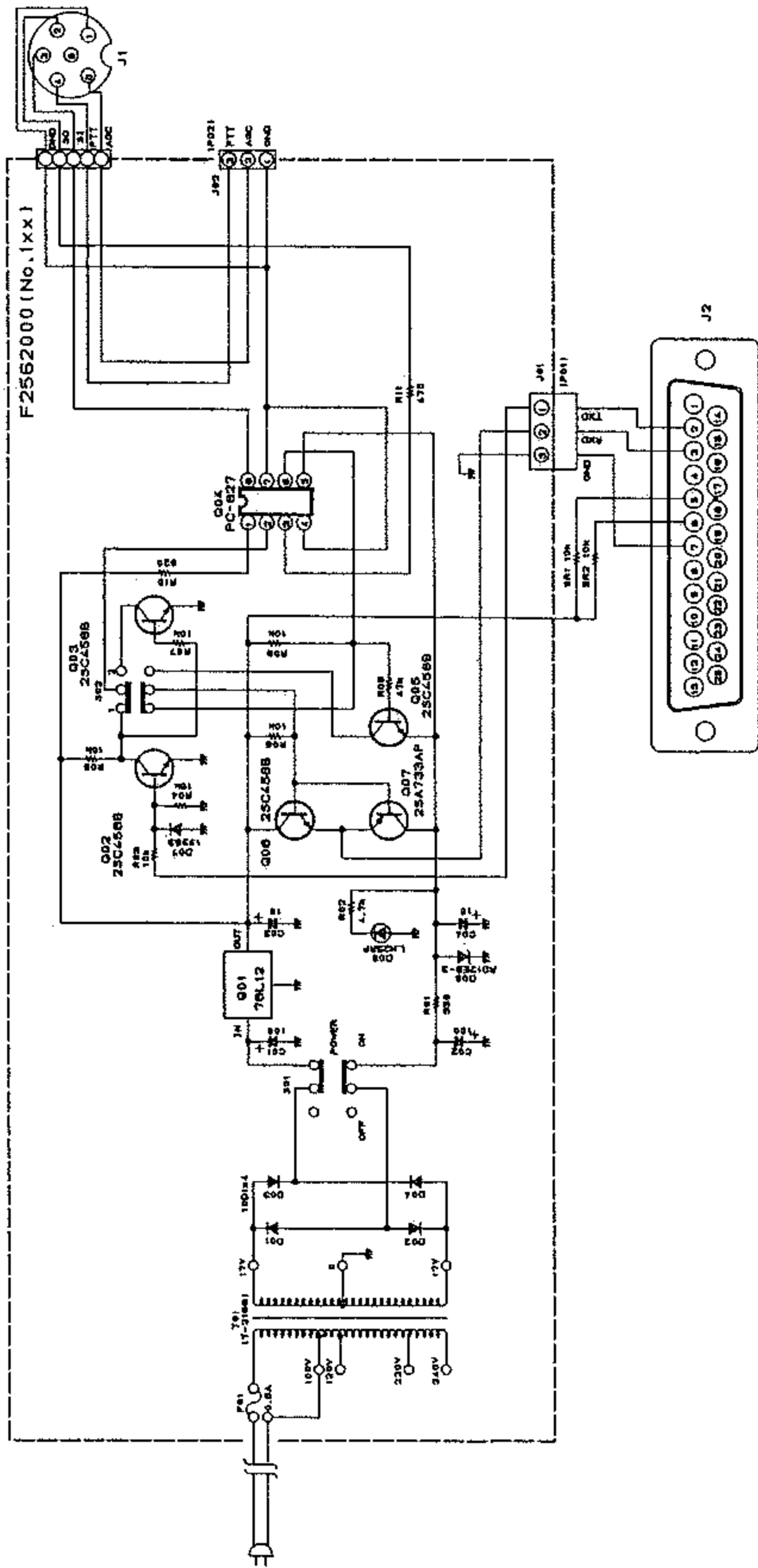
基板上のマークが1の側（電源トランス側）では入力信号と反転した極性の信号が出力され、マークが2の側では、入力信号と同じ極性の信号が出力されます（FT-980/Sとパーソナルコンピュータ間の入出力の信号共同時に切り換わります。）

- ② この極性は、工場出荷時には反転する1の側に設定してあります。

- ③ CATシステムでは、非同期式通信を行っていますから、RS-232Cの信号はTXD、RXDのラインのみを使用し、他の信号は接続してありませんのでご注意ください。

- ④ FIF-232Cには、このほかFT-980/Sの外部コントロールジャック（EXT CNTL）に引き出しているPTTラインおよびAGCラインを中継する出力コネクタが用意してありますから、他の周辺機器との接続や外部コントロールを簡単に行うことができ、拡張性あるプログラムが可能です。





(注) 使用するパーソナルコンピュータによってはJ2のピン⑤、ピン⑥のプルアップ抵抗が
 不用のものがありませんのでこの場合には取り去ってください。

FIF-232C
 CIRCUIT DIAGRAM